

市民自治のまちづくりに関するアンケート調査票

苦小牧市では、市民自治のまちづくりを進めるため、平成18年12月に苦小牧市自治基本条例を制定しました。市民自治のまちづくりとは、市民のみなさんが自ら考え、行動し、決定する「市民が主役のまちづくり」を行うことです。この条例では、市民であることが誇りに思えるまちを築くことをまちづくりの理念として定めています。

このアンケートは、市民自治のまちづくりについて、市民のみなさんがどのような考えを持っているのかについてご意見をお聞きするアンケート調査となっていますので、ぜひご協力をお願いいたします。

【問1】 回答者（あなた）について、当てはまるものを1つだけ選んで、番号に○を付けてください。

(1) 性別	1 男性	2 女性		
(2) 年齢	1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
	5 50代	6 60代	7 70代以上	
(3) 職業	1 会社員	2 公務員	3 自営業	4 アルバイト
	5 学生	6 無職	7 その他 ()	
(4) 居住年数 ※苦小牧市に何年居住しているか	1 1年未満		2 1年以上5年未満	
	3 5年以上10年未満		4 10年以上20年未満	
	5 20年以上			

《自治基本条例について》

【問2】 あなたは、「苦小牧市自治基本条例」を知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んで、番号に○を付けてください。

- 1 内容をよく知っている
- 2 内容を少しは知っている
- 3 名称だけは聞いたことがある
- 4 まったく知らない → 問4へ

【問3】 あなたは、「苦小牧市自治基本条例」を何から知りましたか。当てはまるものを全てを選んで、番号に○を付けてください。

- 1 広報とまこまい
- 2 市のホームページ
- 3 出前講座
- 4 新聞
- 5 市民情報コーナー（本庁舎2階談話室）
- 6 市のパンフレットやリーフレット
- 7 友人・知人や家族
- 8 その他 ()

《情報共有について》

【問4】 あなたは、苫小牧市が発信している情報が分かりやすいと思いますか。当てはまるもの1つだけを選んで、番号に○を付けてください。

- 1 分かりやすい
- 2 どちらかといえば分かりやすい
- 3 どちらかといえば分かりにくい
- 4 分かりにくい
- 5 分からない

【問5】 あなたは、苫小牧市が発信している情報の量についてどう感じますか。当てはまるもの1つだけを選んで、番号に○を付けてください。

- 1 もっと多い方がよい
- 2 適切
- 3 もっと少なくてもよい

【問6】 あなたは、効果的に情報を発信していくためには何が必要だと思いますか。当てはまるもの全てを選んで、番号に○を付けてください。

- 1 より早く情報を発信する
- 2 きめ細かな情報を発信する
- 3 生活に関係する重要な情報を選別して発信する
- 4 いろいろな媒体により情報を発信する
- 5 より分かりやすく情報を発信する
- 6 その他（）

《市政への市民参加について》

【問7】 あなたは、苫小牧市の市政に関心がありますか。当てはまるもの1つだけを選んで、番号に○を付けてください。

- 1 とても関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 全く関心がない

【問8】 あなたは、市政に参加したことがありますか。当てはまるもの全てを選んで番号に○を付けてください。

- 1 市が主催する住民説明会、意見交換会等への参加
- 2 市政に関連した公開討論会、市民フォーラム、シンポジウムへの参加
- 3 ワークショップ、ワールドカフェ等による意見交換
- 4 まちかどミーティング、まちづくりトーク、ふれあいミーティング等への参加
- 5 審議会、委員会等の委員として参加
- 6 市議会、審議会の傍聴（インターネット中継を含む。）
- 7 来庁や電話、電子メール、FAX、手紙での提言・要望等の意見提出
- 8 みんなの意見箱とま★ポによる意見提出
- 9 市政レポーター制度（とまレポ）への参加
- 10 市民からの意見の募集（パブリックコメント）による意見提出
- 11 市が実施するアンケート調査に回答（本アンケート以外）
- 12 その他（）
- 13 参加したことがない

●まちかどミーティング、まちづくりトーク、ふれあいミーティング等への参加

※まちかどミーティング～市長が地域に出向いて、地域の課題や要望についての意見交換を行う
まちづくりトーク～広く人が集まる施設などで、市民と市長が、まちづくりをテーマに意見交換を行う

ふれあいミーティング～市長が各種団体や市民グループに、団体の活動内容や課題などを通じて、広くまちづくりのアイデアを伺う

●審議会、委員会等の委員として参加

※学識経験者や市民活動団体からの推薦委員、公募市民などから構成された委員が、市政に関することについて議論等を行う

●みんなの意見箱とま★ポによる意見提出

※市政に関する意見を自由に記載し、みんなの意見箱とま★ポ（市内9か所に設置）へ投函する

●市政レポーター制度（とまレポ）への参加

※公募市民が、市政レポーターとして市の各種事業等に参加し、市政に関する意見や提案を行う

●市民からの意見の募集（パブリックコメント）による意見提出

※市が作成した条例、計画等の素案に対し、書面により意見を提出する

【問9】 あなたは、今後（も）、市政に参加したいと思いますか。当てはまるもの1つだけを選んで、番号に○を付けてください。

- 1 積極的に参加したい → 問11へ
- 2 時間に余裕があれば参加したい → 問11へ
- 3 興味のある分野であれば参加したい → 問11へ
- 4 参加したいと思わない
- 5 わからない → 問11へ

【問10】 問9で「4 参加したいと思わない」を選択した方にお聞きします。市政に参加したいと思わない理由は何ですか、当てはまるもの全てを選んで、番号に○を付けてください。

- 1 市政に興味がない
- 2 時間に余裕がない
- 3 市政に参加することは面倒だから
- 4 市政に参加する方法が分からない
- 5 市民が市政に参加する必要性がない
- 6 その他（ ）

【問11】 あなたは、市民が市政に参加しやすくなるために何が必要だと思いますか。当てはまるもの1つだけを選んで、番号に○を付けてください。

- 1 市民参加の効果が実感できるようにする（意見が反映された事例紹介等）
- 2 誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加機会を整備する
- 3 市民参加を身近に感じられるようにする（市民参加の手法の紹介等）
- 4 市民参加に関する情報を分かりやすく簡単に入手できるようにする
- 5 その他（ ）

【問 15】 あなたは、まちづくり活動を進めるために何が必要だと思いますか。当てはまるもの3つだけを選んで、番号に○を付けてください。

- 1 まちづくり活動の情報提供
- 2 ボランティアの募集、イベントの開催情報の提供
- 3 活動の場の整備
- 4 地域住民のふれあいサロン、仲間づくり交流会、親睦会等の情報提供
- 5 地域活動に関心がある人たちのための情報交換、交流の機会の提供
- 6 まちづくり活動の体験会、研修等の機会の提供
- 7 趣味、特技が生かせる活動の紹介
- 8 年齢層、性別による活動団体のマッチング
- 9 その他（）

ご協力ありがとうございました。このアンケート調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、10月9日（火）までに郵便ポストへ投函ください。